

## MBI マル知ネット 活動報告



MBI 桜の木(@野川公園) [渡辺さん 4月5日撮影]

### ■第18回 MBI 花見報告 (2014年4月5日)

菅野 妙子

4月の第一土曜日に開催されている恒例の MBI 花見は、4月5日、小川哲夫さん(7期)邸で開催されました。一時通り雨がありましたが、今までにないきれいな青空で、22名もの人たちが集まり、楽しく語りました。

今年は丁度、枝垂れ桜やミツバツツジが満開で、花見には最高のタイミングでした。小川家の庭には、サクラやミツバツツジのほか、もみじや柿、ケヤキの新緑、花カイドウ、チューリップ、ヤマブキなどなどがあり、とても色鮮やかでした。

小川さんの奥様が準備してくださった汁もの、おひたしの他、皆さんが持ち寄った食材、飲み物で、小川家の花々ともども、大変盛り上がりしました。

最後は、これも恒例の MBI 合唱団による懐かしい歌で締めくくりました。今回は素晴らしいソプラノとアルトが加わり、とても爽快感あふれるお花見会でした。

いつもながら会場をご提供いただいた小川さん、奥様に心から御礼申し上げます。

来年も4月の第一土曜日(4月4日)、小川邸で開催の予定です。奮ってご参加ください。



小川邸での MBI 花見

☆☆☆



## ■テニスサークル報告

大東 敏治(第 24 期)

### ★第 83 回 2013 年 9 月 12 日

第 83 回 MBI テニスサークルは 2013 年 9 月 12 日に行いました。

この日は予報どおり素晴らしい好天で、4 時間たっぷり楽しめました。久しぶりに参加された野上さんを含めて 9 名が、2 面を空かすことなく使いました。

それぞれが持ち寄ったよく冷えた差し入れで息を継ぎながら、存分に体を動かしました。

そのせいか、当日の夕食会はことのほか食が進みました。



### ★第 85 回 2014 年 1 月 9 日

第 85 回 MBI テニスサークルは 2014 年 1 月 9 日に行いました。

このところ、MBI テニスサークルは前日から天気が崩れてやきもきします。この日も前夜の雨と当日夕方の雨予報があり、気になる空模様でした。

しかし、そこは日頃の行いのせいでしょうか、お昼前後は眩いほどの陽射しに恵まれました。しかもダブルスが丁度組める 8 名参加のため、誰も休むことなく体をずっと動かすことができました。

おかげで、冬の束の間の晴れ間を楽しく健康的に過ごすことができました。

夕食会は久しぶりに鮭と日本酒で、新年に相応しい席となりました。



冬の束の間の晴れ間を楽しくプレーできました



夕食会には、常連の山寺さんと貴志さんの奥様が  
加わり、一層賑やかでした

☆☆☆

## ■アルペンサークル報告

比地原 正明(第 17 期)

### ★第 46 回 2014 年 2 月 14 日 スキー

第 46 回アルペンサークルは長野県の「奥志賀高原スキー場」で 12 名の参加で実施しました。今年は昨年にも増して大雪で積ってゆく新雪に苦労しました。参加予定だった町田さんは松本で志賀高原行を断念するほどの下界での大雪でした。

スキーの後は、ゲレンデの下の宿「シャレー・クリスチャニア」で夕食を楽しみ、そして懇親会では野上さんの進行によるショートスピーチで歓談し、楽しい時間を過しました。下界では想像以上の大雪で新幹線、高速道路、幹線道路がマヒしてしまい、それぞれ苦労しながらも全員無事に帰宅しました。スキーよりも帰宅困難で盛り上がってしまったアルペンサークルでした。

早い人は 12 日から宿泊しスキーを楽しみました。13 日の天気はまずまずで今回唯一の好コンディションでの滑りができた日でした。一の瀬の奥にある寺子屋まで行き、気持ち良く滑りました。14 日になるとどんどん雪が積もってきてゲレンデは新雪になりましたが、午後の雪は重く苦労しました。



焼額山に集合(2 月 14 日)

### ★第 47 回 2014 年 5 月 24 日 「高松山」

第 47 回アルペンサークルは「高松山」で、12 名の参加で実施しました。小田急の新松田駅からバスで 10 分の高松山入口バス停から歩き出します。今日は天気も良く夏の山を思わせる暑さの中、出発しました。東名高速をくぐってしばらく舗装された農道を歩くと、やがて山道になりました。

樹林の中をしばらく登って行くと時々右手の樹間から松田の町、そして小田原の町、少し霞んだ相模湾が見えてきました。山頂手前のピリ堂で一休み。ピリ堂といってもお堂があるわけではなく、二体の馬頭観音像があるだけです。ピリ堂のいわれ由来は、一番びり、最後にある観音堂のため「ピリ堂」といわれたそうです。

山頂に到着すると相模湾、箱根の山々、そして富士山と素晴らしい眺めが広がります。ここで大休止をして昼食となりました。昼食の後は全員で簡単な自己紹介をして尺沢峠へ向けて下山開始。この道は虫沢古道と言うそうです。

尺沢峠からはいやな舗装道路の下りが続きます。東名高速の橋が見えるともう少して舗装道路歩きも終わり、バス停に到着しました。バスで新松田に戻り、駅前の居酒屋で懇親会を行いました。



高松山の山頂にて

☆☆☆



## ■「MBI サロン」より

樋口 周嘉(第 8 期)  
平松 信実(第 23 期)

「MBI サロン」は、毎月第二金曜日に六本木の「ステラハウス」で開催しています。

参加者の多くがフリーになられた関係で、以前 19 時だった開始時刻を今は 18 時にしていますが、この開始時刻より早く来られて、カウンターで飲んで待っている方が必ずおられます。「ステラハウス」での開催が 10 年を超え、いつも MBI サロン向けに特別料理を作ってくれる女性(マロミさん)が参加者とすっかり顔なじみになっていて、飲みながら彼女と話すこともできるし、時には店内でのピアノレッスンの場に遭遇することもあり、案外面白いのです。早く来て飲んでも会費は変わらないので、時間を見計らっての来店や早く着き過ぎた場合の時間調整の必要もありません。

開始時刻を 1 時間も早めたにも拘わらず、終了時刻は相変わらず以前と同じ 21 時近くになります。楽しく話が弾んで時間を忘れるということでしょう。

MBI サロンは 1998 年の第 1 回開催から 16 年が経ち、2014 年 7 月までで 173 回を数えました。今は、平均 6~7 名の参加者がリラックスして飲み、食べ、話し、笑い、盛り上がる交流の場として定着しています。

常連の方がおられる一方、新しい方にも覗いて頂き、その新しい方の中から常連になられる方が出たりしながら、16 年の間に少しずつ常連も入れ替わり、それに伴い話題も入れ替わって行くなど、173 回分の積み重ねの妙があったと言えましょう。

四国お遍路 3 週の H 氏の話聴いて、新たに 2 人が四国お遍路を始めましたし、ゴルフ通の T 氏が N 氏を誘って一緒にペブル・ビーチへ行くなど、MBI サロンならではの発展もありました。

常連のお一人であった篠田博さん(2 期、三菱

重工出身)はイタリア語を勉強し、3 ヶ月間のイタリア美術ひとり旅に行かれましたが、その感化を受けてスペイン語を勉強し、スペイン・中南米の旅を楽しんでいる人もいます。その篠田さんが 7 月に亡くなれましたが、誠に惜しまれます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

MBI サロンはシリーズ・ドラマのようでもあります。いろいろな交流・活動・発展の舞台になってまいります。新しい方の参加をお待ちしています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

気の向いた方に集まって頂き、おしゃべりをし、飲み且つ食事を楽しむというコンセプトは変わりません。毎月第二金曜日、六本木「ステラハウス」で開いておりますので、どうぞお立ち寄りください。

### 《MBIサロン案内》

【毎月第二金曜日】 午後 6 時から 2 時間程度

#### 【開催場所】

Stella House ステラハウス  
港区六本木 7-18-24 鈴木ビル 102  
電話 03-3403-8269



2013 年 4 月の MBI サロン  
前列左から 2 人目が篠田博さん(2014/7/11 ご逝去)

☆☆☆



## 第 29 回 Foreign Affairs 研究会報告

小川 哲夫(第 7 期)

2013 年 12 月 27 日(金)午後 6 時から第 29 回 Foreign Affairs 研究会が学士会館 3 階の会議室で 16 名の参加を得て開催されました。この会としては多人数の参加であり、主催者の一人として嬉しく感じました。約 2 時間研究会を行い、その後で会場に中華料理を運んで頂き、美味しい料理やアルコールを楽しみながら議論の続きをし、忘年会としました。

今回のテーマは FA 誌 2013 年 5/6 月号掲載の「The Irony of American Strategy」で、レポーターは私、小川(7 期)が務めました。論文の著者は Richard N. Haass 氏です。Haass 氏は元々外交官で、2003 年 7 月以来、外交問題評議会(超党派のシンクタンク)の会長(前職、国務省政策企画局長)を務めています。米国の外交政策に強い影響力を持つ組織の会長が書いた論文だけに、現時点の米国外交政策を見る上で大いに参考になります。

内容は、アメリカの外交政策がイラク戦争に代表されるような中東への大規模な軍事介入からアジア重視へ変わってきていることを中心に、中東への関与の仕方、アジアへの関与の仕方とその理由などについて論じたものです。アフガニスタンでのタリバン政権打倒の戦いはともかく、イラク戦争は米国としてやらなければならなかった戦争ではなかったと結論付け、多くの犠牲を伴った中東への関与は何の利益にもならず、今後は直接的な軍事行動を伴わない、別の手段を使った関与にすべきである。

しかし、米国がこのような政策転換をした直後

にシリアの問題など、米国としても背を向けられない状況が生まれてきているのは皮肉(Irony)だ。

一方アジアは、中東とは対照的に大国が競争している場所であり、米国の軍事力の存在と行動が多くの潜在的な問題に立ち向かい、対処するのに極めて有効だろう。オバマ政権が 2011 年にアジア重視へと政策転換(Pivot あるいは Rebalancing)したのは評価できる。アジアで最も重要なのは、一つには中国を地域そしてグローバルな秩序に組み入れるようにする努力であり、もう一つは、この地域の他の国々が、より強大な隣国に順応し始めないように、あるいは彼ら自身がより国家主義的で攻撃的にならない様にするため、米国が活動的であり続け、信頼できる戦略的なパートナーとなり、あらゆる意味であらゆる分野に存在している事だと主張している。

忘年会に入ってから、尖閣諸島に対する中国の攻撃的な対応など、活発な意見交換が続きました。

来年も引き続き研究会を開催いたします。新たに参加される方、大歓迎です。今回の 16 名を越すような人数での開催が出来る事を期待しております。



第 29 回 FA 研究会には 16 名の人たちが参加された

☆☆☆